

会 議 録

会 議 名	年 月 日	場 所	記 録 者 名
第 2 回防災ネット連絡会	令和 4 年 9 月 2 日	早稲田公民館	*****

出 席 者 1 1 名

【記録】

1. 出欠兼ねての自己紹介

2. 防災活動の報告と取り組み予定

東 2：町内で行った防災アンケートの集計結果を基にした勉強会・説明会を予定。

東 4：10月から組毎にお試し避難と防災茶話会を開始し3月までに終了させたい。

早 2：9月-治山堰堤の見学とハイキング。10月-わが家の避難計画作成会。

2月-集会所でのお試し避難体験。

早 3：広報誌9月号で防災情報を発信。

早 4：早稲田第1公園に保管してある防災グッズの点検を予定。

3. コロナ禍での活動や情報共有の手段について

1) 各団体とも会長ほか役員を主体に活動している。

2) 活動は月1などで会議を行う団体は多いが、コロナ感染の影響もあり多人数が集まるような会議は行えていない。

3) 情報共有の手段として

- ・役員間や幹事さんには会議や電話（口頭含む）メールほかLINEグループを使用。
- ・地域には主に回覧板や広報誌といった紙媒体を使用。
- ・地域全てに普及してはいないがLINEグループを使用（東2、東4）
- ・町内で連絡網を整備している（早3）
 - ・コロナ禍により月1回の幹事会は人数が多く会場の準備が困難なため2年以上開けていない。（早4）
- ・メルポコで主に防災の町内ボランティアを募っているが近年は減少傾向（早4）
- ・キャリアメールやSMSを使った送信システムは運用にコストが掛かる。
- ・LINEグループは便利だが地域一律でLINEを普及させるというのは困難。
興味を持ち必要性を感じないと使用してもらえない。
- ・運用コストや扱い易さも影響するため、現状では複数の連絡・伝達手段を確保する事が必要。
 - ・普段から顔の見える関係づくりが大切。よく知らない人の話や情報では興味を持ってもらう事は出来ない。
 - ・コロナ禍の状況では他人との関係が希薄になりがち。特に子どもへの影響は大きい。挨拶などの声かけで不安を和らげてあげる事がとても大切。

会 議 録

会 議 名	年 月 日	場 所	記 録 者 名
第 2 回防災ネット連絡会	令和 4 年 9 月 2 日	早稲田公民館	*****

4. わせだ自主防ホームページ活用方法のアイデア募集

自主防事務局の方がゲストとして出席され、わせだ防災プランに合わせて運用し始めたホームページの活用方法アイデアの募集案内をされた。

注) サイトの仕様などからリアルタイムでの情報提供は難しい。

常時書き込み可能な掲示板は誹謗中傷などもあり管理が難しい。

- ・ 外出時などにも役立つ情報へのリンク集。
- ・ リアルタイムな地域密着型の情報提供として現在、地域防災プラットフォームでケーブルテレビのちゅピcomさんと連携して試験的にLINEを使った災害時の情報提供と、その情報を活かした防災報道の研究を進めている。

第 3 回連絡会 : 12月2日(金)を予定

以 上